

大沼ラムサール協議会の 活動とこれから



2022.3.5 地域循環共生圏フォーラム
大沼ラムサール協議会/七飯町民生部環境生活課
吉田 浩平



ラムサール条約登録地への歴史

- ・平成22年9月 ラムサール条約湿地潜在候補地に選定
→172ヶ所が選ばれた（道内では21ヶ所）
- ・平成23年1月 七飯町役場向けセミナーの開催
- ・平成23年4月 町民説明会の開催
→条約についての説明が行われた
- ・平成23年6月 地域団体より要望書が町へ提出される
地元の賛同を得られた
- ・平成23年8月 北海道地方環境事務所へ要望書を提出
平成24年7月3日
ルーマニアで開催されたCOP11において大沼が
ラムサール条約登録湿地に認定される



大沼ラムサール協議会設立への歴史

- ・平成24年4月 協議会検討委員会が行われる。
→協議会の設立の承認・メンバー構成の決定
- ・平成24年6月 協議会設立総会が行われる。
→協議会の名称・役員・事業案・規約について議論
大沼流域生物多様性保全協議会
- ・平成24年7月 臨時会が行われる。
→名称が大沼ラムサール協議会に決定
- ・平成27年 部会の設置が決定される。
→環境保全部会、教育・ワイズユース部会
- ・令和元年 部会の設置を届出制に変更
→協議会構成員の活発な活動を支援



大沼ラムサール協議会規約第2条
「豊かな自然を保全し、恵まれた環境を
後世へ永続的に引き継ぐ」



当事者意識の醸成
大沼に足を運ぶ機会を増やす
「見る」対象から、「行く」対象へ
様々な個人・団体との
連携 (協働) で行っていく

協議会の活動



【大沼ラムサール隊】

大沼の子どもたち到大沼の自然に親しみを持ってもらう事を目的に大沼の様々な場所へ行き活動を行っている

協議会の活動



【大沼ラムサール隊】

地域外の場合へ行き、大沼の自然が当たり前でない事を
学んだり、大学の活動に参加しより地域を知る活動も行う

協議会の活動



【あそViva!まなViva!プロジェクト】
普段研究者が行なっている、フィールドワークと実験を行う
遊び場 (フィールド) としての大沼と学び場 (研究) としての
大沼を一度に味わうことができる

協議会の活動



【学校などへの協力】
大沼を利用した課外活動に講師を派遣するなど協力を行う
依頼のあった団体に講師を派遣する



協議会の活動



【大沼未来会議】

これからの大沼のあり方、いわゆるまちづくりについて考える
ワークショップの開催



協議会の活動



【シンポジウムの開催】
大沼について考えるシンポジウムを開催



協議会の活動



【研究活動の支援】

大沼を研究地とする研究者の方々へ研究活動への協力や研究結果の地域還元の間を提供するなどの支援を行う



取り組みから考えること・・・

どの分野でもそうかもしれませんが・・・

情報が手に入りやすいからこそ、熟慮と知識を大切に



科学的、論理的という言葉が曖昧になってきている



社会・経済・環境という三位一体

地元・行政・学術という三位一体のような

協働の形で社会課題に取り組むように変化している・・・

気がする

ご清聴ありがとうございました

年末の小沼散策路